

令和4年度 枝幸小グランドデザイン

■校訓■ **誠** ■合い言葉■ 「ひつと」

■R4指定事業■ 「中1ギャップ問題未然防止事業（R4～R6予定）」～枝幸中を拠点校に枝幸小・岡島小・目梨泊小が連携を図り、学力保障や不登校等の課題に取り組む～

■学校の教育目標■ **ひらく つながる ととのえる**
～自ら学びを切り拓く 知恵と力を合わせる 自立の力を高める～
★学校評価「ひらく」「つながる」「ととのえる」肯定的回答平均 3.5P

■重点目標■ **他者とつながる児童の育成**
★「まわりの人とのふれあいに喜びを感じた」肯定的回答 4.0P

■宗谷管内学力保障プランの総括的指標■～子どもの未来保障 over70～
“OVER 70” “12年間継続する学力保障”
～全国学力・学習状況調査において、全ての児童の国語・算数の正答率が70%以上～
★チャレンジサポート問題で7割以上正答した児童の割合 100%
★S サポート問題を提供する際に提示した期待する正答数を達成する児童の割合 100%
★「国語・算数の授業が分かる」肯定的回答 100%

■よさを伸長 好奇心 学習意欲 誠実さ
■課題を克服 学力（算数） コミュニケーションが不得意

■令和3年度の重点■ **凡事徹底**

■目指す姿■
子ども像 ◆目標を定め、あきらめずに努力を継続できる子 ◆仲間との交流で多様な考えにふれ、思考を深める子 ◆規則正しい生活で自らの心身を整えられる子
教職員像 子どもの輝く未来のために、 ◆授業で資質・能力を育成できる教員 ◆一人一人のよさを認め励ます教職員 ◆相互に学び合いチーム力を高める教職員
授業像 ◆わかる・できる授業 ◆対話を通して自己を高められる授業 **学校像** ◆通うのが楽しい学校

◆学校改革の主な内容（令和3年度～）
○校務運営組織の改編
地域連携推進部、保健体育部、道徳教育推進委員会等の新設
○全教職員一丸となったカリキュラム・マネジメントによる新教育課程の編成
○働き方改革の推進（地域ボランティアの皆様のご協力等）
○安心・安全対策（安心メール、施錠管理システム等）
○学校HPの開設 ほか

◆教育課程の不断の見直し—学習指導要領に基づき、資質・能力を確実に育成
★「単元実施後には成果及び改善内容を記録し、次単元や他教科等での指導に生かすことができた」肯定的回答 3.5P
○地域とのかかわりを通して、児童も教師もわくわくする体験的な活動
○他の教科や実生活と関連付ける学び ○小中高12年間を見据えた指導
○学習内容の定着状況等の成果を踏まえ、単元構成や教材を短期的に更新

■本校が取り組むこと

*重点（緑枠） *「つながる」との関連（紫字）

◆授業改革—「主体的・対話的で深い学び」の実現～「枝幸小授業改革10のポイント」～
★「仲間と意見交流し自分の考えを深め、必要な資質・能力の育成が図られた」肯定的回答 3.5P
★（学力検査）国語・算数の1・2判定児童の割合を 25%以下
○ねらいの明確化○INPUTをOUTPUTさせて学習状況把握○未定着の内容は「わかるまで・できるまで」次の一手を！○対話を通して考えを広げる・修正する・転換する・深める
○生徒指導の3機能（自己存在感、自己決定、共感的人間関係）○習熟度に応じた指導
○5・6年生教科担任制の導入（理科）で質の向上（定着層/中間層/伸びしろ層）

◆特別支援教育—将来の自立を見据え、児童一人一人に最も適した支援
★「特支学級及び通常学級に在籍する児童について、特支コーディネーターを核とした個別最適な支援が進んだ」肯定的回答 3.5P
○特別支援連携検討委員会による連絡調整 ○関係機関との役割連携
○特支・通常学級在籍の児童に個別最適な支援策

◆教職員の研修—教職員の資質・能力の向上、社会の変化にしなやかに対応
★「研修の充実により主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革が進んだ」肯定的回答 3.5P
○日常の授業に直結する研修（校長・教頭による観察、好事例の共有、授業交流週間）
○授業づくり、学級経営、ICT活用、今日的な課題等のテーマで相互に学び合い、子どもの成長につながる研修

◆特別活動—よりよい人間関係づくり
★「児童相互に認め合う心の成長が見られた」肯定的回答 3.5P
○互いの考えの違いを認め合い、新たなものを生み出す学級活動
○児童が主体的に創る児童会活動、学校行事、クラブ活動
○社会性を育む異年齢交流（異学年、幼-保-小-中-高の連携）

◆働き方改革—子どもと向き合い、教育の質を上げる
★「時間外在校等時間が45h/月を超える教職員の割合」0%
○板書事項、教材、指導案等のデータの共有
○業務の平準化を目指す校務運営組織の改編
○校務の効率化と相互チェック・支援の機能化
○教育目標の実現に直結しない活動の縮小・廃止

◆生徒指導—子ども一人一人のよさを認め励まし、自己実現へ
★「いじめはどんなことがあっても許されない」肯定的回答 100%
○返事、あいさつ、しっかり聞く○組織的に未然防止、早期発見・解消
○自立を促し、厳しくも温かい指導○「ほっと」を活用した児童理解
○ねらいを明確にした定期教育相談、時機を逃さないチャンス相談

◆ICT活用—将来を見据え、児童一人一人の情報活用能力UP!
★「タブレットやデジタル教科書を活用した授業実践が進み、情報活用能力の高まりがみられた」3.5P ○ICTの特性や利点を活かした指導方法の工夫○ipad持ち帰り（学習支援ソフト）○臨休時や不登校児童等へのオンライン授業○校内研修の学び合いで全学年の活用促進

◆チャレンジタイム—ねらいとターゲットを明確にした学習支援
★「学力向上の取組や、成果・改善策を分かりやすく伝えること」肯定的回答 3.5P ○個別最適な学び（定着層/中間層/伸びしろ層）
○全国学力・学習状況調査の効果的な活用
○分かっている箇所とつまづきを確認し、繰り返し学習で克服
○相手を意識し、考えて表現する力の向上
○学び合い・教え合いを通じた理解の深化

◆総合的な学習の時間—協働的に学び、自らの生き方を問い続ける
★「体験的学習、ICTの活用、仲間や地域との協働的な学びを通して、自らの生き方を考えることに高まりがみられた」肯定的回答 3.5P
○ICTを有効活用し、探究的な学びの質を向上
○各教科の学習とのかかわり
○地域の「ひと・もの・こと」とつながる

◆キャリア教育—成長を振り返り、将来や生き方を考え、学ぶ意欲を高める
★「キャリア教育の視点で全教育活動を展開することにより、よりよい生き方を目指し、学ぶ意欲の高まりがみられた」肯定的回答 3.5P
○4能力（①人間関係形成・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリア・プランニング能力）の育成
○キャリア・パスポートの活用（成長を振り返り、よりよい生き方を目指す）
○望ましい勤労観・職業観 ○地域の教育資源の有効活用

◆道徳教育—よりよく生きるための道徳性を養う
★「道徳科の授業の充実により、道徳実践力が高まりがみられた」肯定的回答 3.5P
○【思いやり】と【相互理解、寛容】の重点化
○他者と対話し、多面的・多角的な考えを深める道徳科

◆健康安全指導—子ども自らが危険を予測し、回避できる能力を育成
★「自分の身は自分で守る意識の高まりがみられた」肯定的回答 3.5P
○実際に即した交通安全教室・避難訓練（津波・火災）○性教育
○ネットトラブル・薬物乱用防止教室（保護者の参加を含む）
○望ましい生活・学習習慣 ○食に関する指導 ○フッ化物洗口（小1）
○新体力テスト（運動に親しむ、力を引き出す、弱点克服）

◆地域・社会との教育課程の共有—地学協働で子どもを育てる基盤づくり
★「学校の重点目標や取組、成果・改善策は分かりやすく伝わっている」肯定的回答 3.5P
○C.S.学校運営協議会（年3回） ○学校支援地域本部（地域の教育資源）
○学童保育 ○遊YOU広場 ○学校だより/学校HP/安心メールの発信の工夫

◆学校評価の充実—短期的な検証改善
★「学校経営方針に基づき、短期的な学校評価により教育活動が更新された」肯定的回答 3.5P
○授業改善と一体的に進む検証改善サイクルの確立 ○形式にとらわれず多様な「声」を傾聴

◆教育環境の整備・充実—安心・安全を担保し、教育の質を高める環境整備
★「各教室や校舎内外の日常的な整理整頓が行われた」肯定的回答 4.0P
○日常整理○点検・整備、備品の購入計画、予算要望、執行状況の把握

◆感染症対策 ○国や道、町の通知を踏まえた基本的な対策の徹底 ○学びの保障（新たな学び） ○心を近付ける指導 ⇒ ◎感染症に立ち向かい、共に力を合わせる人づくりへ